様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	村上市郷土資料館等	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	公益財団法人イヨボヤの里開発公社	所管課	生涯学習　　課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）	評価者（課長）	平山　祐子

１　令和7年度の実績

（1）事業実績

利用実績	・郷土資料館・若林家住宅・歴史文化館入館者数14,678人 ・三の丸記念館利用者数1,485人 ・武家屋敷入館者数3,309人
サービス向上の取組	①ホームページやSNSの充実 ②関係職員による改善案の提示と対応 ③続日本100名城スタンプの設置や各種カードの配布による来館機会の創出

（2）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	52,131	58,842	62,449	173,422	基本協定額：　283,981　千円
	利用料金				0	
	事業収入	88	130	150	368	
	自主事業収入				0	
	その他				0	
	収入合計　①	52,219	58,972	62,599	173,790	
支出	人件費	21,725	25,477	27,768	74,970	
	福利厚生費	3,902	4,553	4,889	13,344	
	事務費	1,408	1,773	1,729	4,910	
	管理費	22,416	23,958	24,684	71,058	
	水道光熱費	6,176	6,566	6,537	19,279	
	修繕料	862	1,186	1,370	3,418	
	使用料・リース料	1,046	1,171	1,153	3,370	
	手数料・保険料	568	571	598	1,737	
	委託料	13,764	14,464	15,026	43,254	
	事業費	73	66	109	248	
	自主事業経費	93	152	153	398	
	その他	2,607	3,016	3,271	8,894	
	支出合計　②	52,224	58,995	62,603	173,822	
収支差額（①－②）		▲ 5	▲ 23	▲ 4	▲ 32	

2 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	◎	◎	地域の伝統行事に合わせた企画や寄贈品の展示等を通して、郷土の伝統文化を伝えることができている。
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	◎	◎	インバウンド対策として英語の案内表示を増やすなどの取組を行うことができている。
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が的確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	◎	◎	集客効果の期待できるSNS運用や若年層の利用者増加を見込んだポスターデザインの刷新など積極的に行うことができている。
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	◎	◎	オリジナルTシャツの販売を行う等、施設のPR商品の開発を行い、安定的な財政基盤を維持する取組を行うことができている。
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

3　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

各施設とも建設から年数が経過しており、設備の劣化が目立っている。空調や電気設備などの主要設備は改修を終えているものの、照明設備は水銀灯(2021年生産等終了)、蛍光灯（2027年生産等終了）がメインであり、退色等の観点からも早急なLED化が必要と思われる。また現在管理施設がすべて浄化槽が設置されており、劣化がみられることから早急な下水道整備が望まれる。また公開武家屋敷について、令和7年度に若林家住宅、旧嵩岡家住宅で茅葺屋根の補修工事が行われたが、年数を経過し雨漏りの発生している住宅もあり、今後も定期的な葺き替えや補修が必要である。

（2）課題解決に向けた取組

武家屋敷については定期的に茅葺屋根の状況を所管課に報告し、葺き替え及び差茅の計画的な実施を要望し、それらを踏まえ改修計画が立てられている。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

アンケートの集計結果では窓口職員の接客態度等は「非常に良い」「良い」という回答が全体の86%を占めており、「悪い」「非常に悪い」という評価はなかった。各施設で実施している来館者アンケートはこまめに確認しており、苦情があった場合には早急に対応できるようにしている。

②その他

4　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

郷土資料館・若林家住宅・村上歴史文化館の有料入館者数は昨年度に比べ増加した。令和7年度は前年度に寄付のあった小和田恒氏ゆかりの品を紹介する特別展を村上歴史文化館で開催したほか、村上祭の屋台行事のユネスコ無形文化遺産追加登録を受け、特別展として「写真と映像で振り返る村上大祭」を郷土資料館で開催したことで好評をいただき、入館者の増加につながっている。

（2）施設所管課の評価

令和7年度は企画展や講座の充実により、入館者増という着実な成果を上げている。
特に小和田恒氏寄贈品の展示や村上祭の屋台行事のユネスコ無形文化遺産登録に係る企画については、地域資源の価値を再認識させるものであった。施設を単なる保存場所から文化の発信拠点へと進化させ、地域文化の振興に向けた積極的な取組は高く評価できるものである。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

村上祭の屋台行事のユネスコ無形文化遺産登録を受け、注目度はより高まるだろう。職員一人ひとりがその自覚をもって責務に当たるとともに、今後も村上大祭等をテーマとした展示や体験講座を積極的に行ってほしい。
また、令和8年7月の料金体系・休館日変更を見据え、職員のスキルアップも必要である。接遇研修に加え、伝統文化に関する勉強会を定例化し、歴史的背景まで含めた正確かつ専門的な説明ができる体制を整え、高い知見と応対能力の向上に努めてもらいたい。